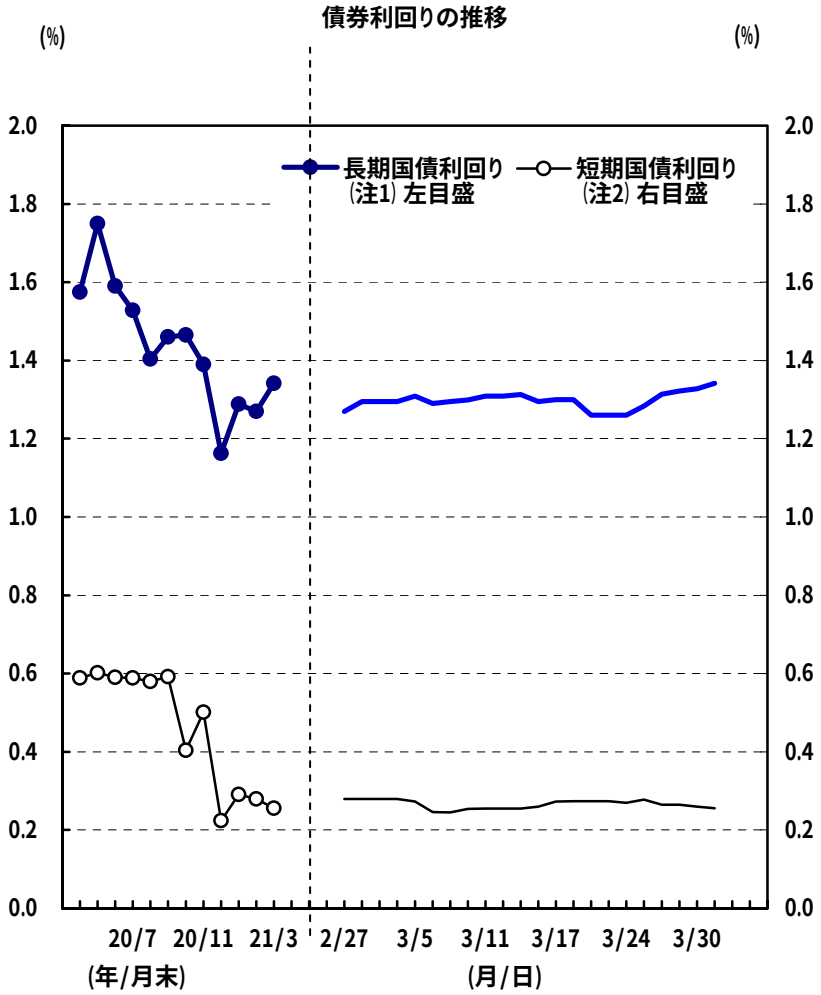
平成 21 年 3 月の公社債市場

（１）流通市場

10 年国債の利回り（注１）は、中旬までは動意の乏しい中、1.3%を挟むレンジ内で推移していたものの、月末にかけては景気対策の原資として国債増発を見越した需要悪化懸念等から、緩やかながらも利回りは上昇した。

国庫短期証券の利回り（注２）は、動意の乏しい中、月中を通じて 0.2%台後半を概ね横ばいに推移した。



(注1) 長期国債 (10年) 直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の平均値 (単利)。
(注2) 国庫短期証券 (3か月) 直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値の平均値 (単利)。

参考

［平成 21 年 3 月の主なトピックス］

日　付	トピックス
3月5日	欧州中央銀行（ＥＣＢ）　政策金利を 2.0%から 1.5%に引き下げ
	イングランド銀行（ＢＯＥ）　政策金利を 1.0%から 0.5%に引き下げ ⇒750 億ポンドの資産買い入れ政策及び量的緩和政策の導入を発表
3月１１日	米国　米株価の急伸及び米国債の需給悪化懸念から米債価格は急落 ⇒国内においても債券のいわゆる質への逃避が後退
3月１３日	2 月消費者態度指数　26.7 ポイント（前月比　0.3 ポイント上昇） ⇒平成 20 年 9 月より低下を続けていたが、上昇に転じた。 ⇒内閣府は基調判断を前月の「下げ止まりの動きも見られる」から「下げ止まりつつある」に上方修正
3月１６日	温家宝首相（中国）　米国債の購入を当面続けると示唆したものの米国資産の安全性について懸念を示した。
3月１８日	日本銀行　金融政策決定会合開催（3 月 17 日～3 月 18 日） ⇒全員一致で現状の金融政策を維持することを決定 次回金融政策決定会合までの金融市場調節方針（長期国債の買い入れを月 1.4 兆円から 1.8 兆円に増額など）を決定
3月１８日	米連邦準備理事会　米連邦公開市場委員会開催（3 月 17 日～3 月 18 日） ⇒政策金利は 0～0.25%に据え置き 向こう半年間に最大 3000 億ドルの長期国債を購入することを決定
3月１９日	日本銀行　金融経済月報発表　⇒景気判断は、前回の「大幅に悪化している」を維持
3月２４日	米国　金融機関が抱える不良資産の買い取り策を発表 ⇒米株価が大幅に上昇
3月２５日	2 月米新築住宅販売件数　33.7 万戸（前月比　1.5 万戸増加） ⇒2 月米新築住宅販売件数等の米国経済指標が市場予想を上回り、内外株価が上昇
3月３１日	麻生首相　追加経済対策の検討を指示 ⇒追加経済対策の財源は「赤字国債発行辞さず」と示唆

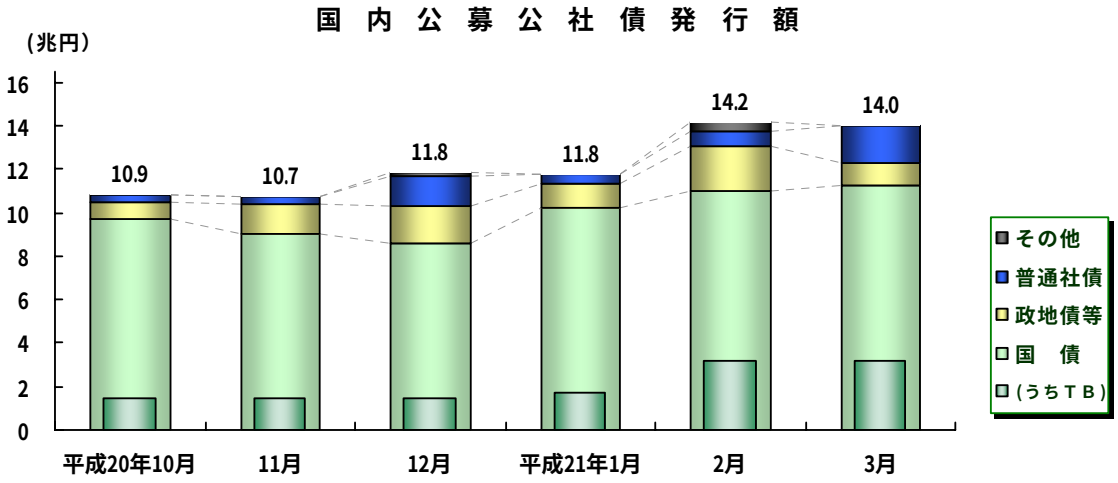
日　付	長期国債（注１）		短期国債（注２）	
		参考統計値		参考統計値
2 月 27 日	298 回債(発行済)	1.270	7 回債	0.280
3 月　2 日	↓	1.295	↓	0.280
3 日	299 回債(23 日発行)	1.295	9 回債	0.280
4 日	〃	1.295	〃	0.280
5 日	〃	1.309	〃	0.273
6 日	〃	1.290	〃	0.246
9 日	〃	1.295	↓	0.245
10 日	〃	1.299	12 回債	0.254
11 日	〃	1.309	〃	0.255
12 日	〃	1.309	〃	0.255
13 日	〃	1.313	〃	0.255
16 日	〃	1.295	↓	0.260
17 日	〃	1.300	13 回債	0.273
18 日	〃	1.300	〃	0.274
19 日	〃	1.260	〃	0.274
23 日	〃	1.260	〃	0.274
24 日	〃	1.260	↓	0.270
25 日	〃	1.284	14 回債	0.278
26 日	〃	1.314	〃	0.265
27 日	〃	1.322	〃	0.265
30 日	〃	1.328	〃	0.260
31 日	↓	1.342	↓	0.256

（注１）長期国債（10 年）直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

（注２）国庫短期証券（3 か月）直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

（２）発行市場

平成 21 年 3 月の国内公募公社債発行額は、14 兆 0,176 億円となり、前月 14 兆 1,668 億円に比べて 1,493 億円の減少と概ね横ばいの水準となった。



（注）１．国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。
２．国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。
３．政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。
４．その他は、転換社債型新株予約権付社債(ＣＢ)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

①　国債

・今月は 30 年利付国債の発行月であったことや国庫短期証券の発行額が大きかったこと等から、発行額の水準が高かった前月と概ね横ばいの水準となった。

発 行 額（億円）	平成20年10月	11月	12月	平成21年1月	2月	3月	前月比
国　債	97,282	90,200	85,856	102,065	110,226	112,526	2,299
（うち 割引短期国債）	(15,000)	(15,000)	(15,000)	(17,000)	(32,000)	(32,000)	(△ 0)
（うち 個人向け国債）	(4,390)	(0)	(0)	(5,046)	(0)	(0)	(0)

（注）億円未満は四捨五入(以下同じ)

②　地方債、政府保証債及び財投機関債等

・前月に比べてそれぞれの発行額が減少し、合計額としては半減した。

発 行 額（億円）	平成20年10月	11月	12月	平成21年1月	2月	3月	前月比
地方債	3,239	6,492	8,113	5,115	7,034	6,534	△ 501
（うち 住民参加型）	(39)	(192)	(1,003)	(35)	(84)	(234)	(150)
政府保証債	4,100	3,400	5,600	4,300	7,485	2,721	△ 4,764
財投機関債	450	3,884	3,767	1,490	5,738	1,428	△ 4,310
地方公社債	0	0	0	200	501	30	△ 471
計	*7,789*	*13,776*	*17,480*	*11,105*	*20,758*	*10,712*	*△ 10,046*

③　普通社債

・高格付企業による大型起債により、普通社債の発行額が大幅に増加した。

発 行 額（億円）	平成20年10月	11月	12月	平成21年1月	2月	3月	前月比
普通社債	3,520	3,150	13,338	4,990	6,280	16,632	10,352
（うち 個人向け社債）	(700)	(100)	(5,950)	(150)	(300)	(8,030)	(7,730)
電力債	2,200	2,450	950	850	700	200	△ 500
一般事業債	620	300	8,545	2,440	3,500	8,750	5,250
NTT･JR･JT債	700	400	850	1,100	0	200	200
銀行社債	0	0	2,993	600	2,080	7,482	5,402

(注) １．一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。
　　２．普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

④　円建外債、ＣＢ及び資産担保型社債

・円建外債の発行額は大幅に減少した。

発 行 額（億円）	平成20年10月	11月	12月	平成21年1月	2月	3月	前月比
ＣＢ	0	0	1,500	0	0	0	0
資産担保型社債	0	0	300	0	0	6	6
円建外債	0	0	0	0	4,404	300	△ 4,104
計	*0*	*0*	*1,800*	*0*	*4,404*	*306*	*△ 4,098*